

大震災のその時に

地域を守る、大学と守る

～強くてしなやかな国土づくりに向けた大学キャンパスの可能性～

吹田市、大阪府茨木土木事務所、阪急電鉄株式会社、学校法人関西大学の4者は、2016年3月31日に、「関西大学周辺まちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。

関西大学の千里山キャンパス内には自家発電装置、地下水をくみ上げた貯水槽を備え、災害時にはグラウンドに救援用ヘリコプターが臨時で離着陸できます。

まちづくりに貢献し、地域を守る大学キャンパスの可能性。大学のあるまちとして、新たな価値をどう創造するかについて考えます。



基調講演

13:00～14:10

- 開会挨拶 関西大学 副学長 社会連携部長 吉田栄司
- 主催者代表挨拶 学校法人関西大学 理事長 池内啓三
- 基調講演1

「キャンパスと地域 ～相互価値の最大化を目指して～」

吹田市 市長 後藤圭二

1980年4月 吹田市役所入庁、市長室参事、環境政策室長、道路公園部長の要職を歴任。2015年吹田市長選で当選、現在に至る。



- 基調講演2

「バリアバリューから社会を変える～障害をマイナスから価値へ～」

株式会社ミライロ 代表取締役社長 垣内俊哉 氏

障害を価値と捉える「バリアバリュー」を掲げ、株式会社ミライロを設立。「誰もが使いやすいユニバーサルデザイン」を提案するコンサルタントとして、300社以上の企業に対して設計監修・製品開発・教育研修などを幅広く手掛け、年間講演数は100件を超える。



パネルディスカッション

14:20～15:20

- パネルディスカッション

「地域と大学の連携でまちを守る」

パネリスト: 吹田市 市長 後藤圭二
株式会社ミライロ 代表取締役社長 垣内俊哉 氏
関西大学環境都市工学部 教授 岡絵理子
吹田市千二地区連合自治会 会長 雑部麻美 氏
ファシリテーター: 関西大学政策創造学部 教授 白石真澄

定員: 500名
参加無料

お申込み
お問い合わせ

(詳しくは裏面へ)

主催: 吹田市、学校法人関西大学

後援: 大阪府茨木土木事務所、阪急電鉄株式会社

問合: 学校法人関西大学管財課 シンポジウム事務局 TEL: 06-6368-0223

【お申込み】 次の1～2のいずれかの方法で、2016年6月22日(水)までに申し込んでください。

1 次の欄に記入のうえFAX (学校法人関西大学管財課 シンポジウム事務局 FAX番号: 06-6368-0276)

お名前	ご所属
お電話番号	メールアドレス
アンケート	
ア あなたは、関西大学に来られたことはありますか？ ⇒ はい いいえ (どのような時か、自由にご記入ください)	イ あなたは、災害時に関西大学に何を期待しますか？ (自由にご記入ください)

2 次のメールアドレス(machidukuri@ml.kandai.jp)に必要事項①～⑤を入力の上送信

【必要事項】 ①お名前、②ご所属、③お電話番号、④メールアドレス、⑤アンケートへの回答

ア あなたは、関西大学に来られたことはありますか？

イ あなたは、災害時に関西大学に何を期待しますか？

※お申込み内容は適切に管理し、本シンポジウム実施の目的以外で利用することはありません。

【お問合せ】 TEL: 06-6368-0223 (平日: 9:00～17:00) 学校法人関西大学管財課 シンポジウム事務局

【会場へのアクセス】



2016年6月25日 **土**

13:00～15:30

関西大学千里山キャンパス
第2学舎4号館 BIGホール100

- 阪急電鉄梅田(大阪)駅から十三・淡路經由「関大前駅」下車
- 地下鉄堺筋線(阪急電鉄千里線相互乗入)淡路經由「関大前駅」下車

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。